

3 クリーン大作戦

なぜ、そうじをするのでしょうか。

生活をしていると、部屋がよごれたり、ごみが出たりします。砂ぼこりや綿ぼこりのように、気がつかないうちにたまるものもあります。

よごれがいたり、ほこりがたまったりすると、気持ちがよくないばかりではなく、かびやダニが発生し、アレルギーの原因^{げんいん}になったり、病気を引き起こしたりすることもあります。

そのため、できるだけよごさないようにすることが大切です。ごみやよごれをそうじして、住まいを清潔^{せいけつ}に保つことは、家族が健康で気持ちよくくらすためには大切なことです。

学習のめあて

- 1 今までのそうじをふり返ってみよう。
- 2 よごれや場所に合ったそうじのしかたをくふうし、気持ちよく生活できるようにしよう。

1 そうじのしかたを見直そう

よごれの種類やよごれ方は、生活のしかたや場所によってちがいます。それぞれの場所をきれいにするにはどうすればよいでしょうか。

今までのそうじのしかたをふり返ってみましょう。

調べよう

どのようなところに、どのようなよごれがあるのか、自分がそうじをする場所について調べてみよう。

学校^{しょうこうぐち}のよごれウォッチング

下の昇降口^{しょうこうぐち}の例を参考にして、それぞれの場所のよごれの様子と、なぜよごれるのか、これまでどのようなそうじをしてきたか、また、もっとくふうできることはないかを考えて、まとめてみよう。

昇降口・げんかん



【よごれの種類】

- 砂
- 綿ぼこり
- どろ
- 小さなごみ

【なぜよごれるのか】(原因)

- 多くの人が出入りするので、砂やどろのよごれが多い。
- とびらを開けたままにしておくと、ほこりが入る。

【今までのそうじのしかた】

- ほうきで砂をきれいに拭く。
- ほこりが飛ばないようにする。
- そうきんでよごれた場所をふく。

【さらにくふうできること】

- 水を流し、デッキブラシでこする。

教室



【よごれの種類】

【なぜよごれるのか】(原因)

【今までのそうじのしかた】

【さらにくふうできること】

手洗い場^{あらいば}



【よごれの種類】

【なぜよごれるのか】(原因)

【今までのそうじのしかた】

【さらにくふうできること】

ひと口メモ ダニは、ほこりやよごれを好みます。たたみやカーペットなどのほこりやよごれをそのままにしておくと、かゆくなったり、せきが出たりするなど人の健康を害するダニの発生のもとにもなります。

整理・整頓の学習を思い出して、まず、かたづけをしよう。



25～29ページ参照

そうじの手順と実行

2 そうじのしかたをくふうしよう

そうじには、吸い取る、はく、はたく、ふく・こするなどの方法があります。よごれの種類やよごれ方を調べ、くふうしてそうじをしましょう。くふうするとそうじが楽しくなります。身じたくや用具の準備をして、窓を開けてからそうじを始めましょう。

1 よごれを調べる



2 そうじのしかたを考える



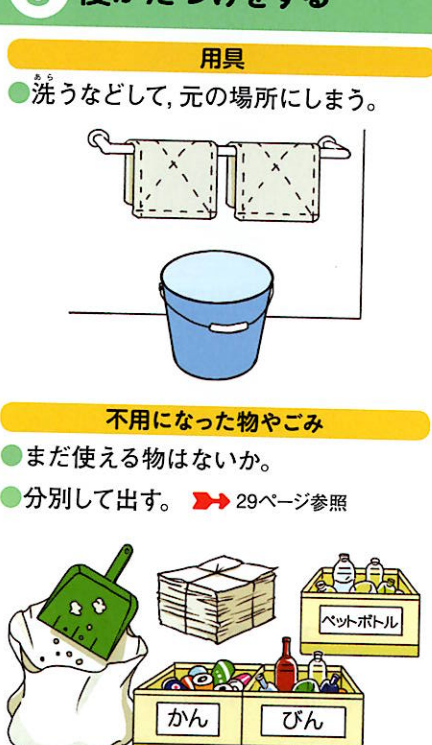
3 準備をする



4 そうじをする



5 後かたづけをする



6 ふり返る

● 手順は?
● 方法は?
● くふうしたことは?
● 後かたづけは?
● うまくできたこと、もっとこうすればよかったと思ったこと。
● きれいに保つためにすること。
● これからの生活に生かしていきたいこと。

参考 そうじのための便利な用具や材料

- すみずみまできれいによごれを落とすためにくふうされた、さまざまな道具がある。
- 身近にあるものをそうじ用具に使ってみよう(例: わりばし, 古くなった歯ブラシや布, 新聞紙)。



安全 住宅用洗ざいの使い方

住宅用洗ざいを使う場合は、必ず表示を読んで、使用方法や注意を守り、適量を使う。

ちがう種類の洗ざいを同時に使うと危険だよ!



? 考えよう

身近な場所のよごれに合ったそうじのしかたを考えよう。



よごれは、時間がたつと落ちにくくなるよ。

出入り口・げんかん

出入り口には、砂がたまりやすい。家族も来客も気持ちよく入ってこられるように、いつもきれいにしておきたい。

Aさんのくふう

- ほこりがひどいので、ぬれた新聞紙をちぎってまいてから、はきました。これは祖母に教わりました。
- すみやみぞなどのせまいところは、ほうきの先を使って、ていねいに砂を取りました。ミニほうきがあると便利です。



台所

ガスこんろの回りは、油よごれがひどかった。窓やかん気せんも思った以上によごれていた。

あなたのくふう



そうじのポイント

- そうじの手順は、上から下へ、おくから前へ行くとよい。
- かたいところはかたいもので、やわらかいところはやわらかいもので、よごれを落とすとよい。
- よごれが水で落ちるか、湯で落ちるか、洗ざいが必要か、どのような洗ざいがよいかなどを、ためてみよう。
- 洗ざいを使わないくふうをしてみよう。86ページ参照

☑ ふり返ろう ● 生かそう

自分でチェックしてみよう!

- 1 これまでのそうじのしかたをふり返ることができましたか。
 - 2 よごれの種類や場所に合ったそうじのしかたをくふうできましたか。
- これからもそうじのしかたをくふうしていきましょう。
- ➡ 「かたづけよう身の回りの物」(25～29ページ) とつながっています。